

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年1月31日

【四半期会計期間】 第113期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

【会社名】 田岡化学工業株式会社

【英訳名】 TAOKA CHEMICAL COMPANY, LIMITED

【代表者の役職氏名】 取締役社長 津田 重典

【本店の所在の場所】 大阪市淀川区西三国四丁目2番11号

【電話番号】 06(6394)1221代表

【事務連絡者氏名】 事業支援室部長 小和田 晴彦

【最寄りの連絡場所】 大阪市淀川区西三国四丁目2番11号

【電話番号】 06(6394)1221代表

【事務連絡者氏名】 事業支援室部長 小和田 晴彦

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第112期 第3四半期 連結累計期間	第113期 第3四半期 連結累計期間	第112期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	13,495,353	12,656,333	17,305,281
経常利益 (千円)	736,003	410,035	604,259
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (千円)	372,672	109,247	156,074
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	348,073	49,674	158,726
純資産額 (千円)	6,439,774	6,092,966	6,250,426
総資産額 (千円)	17,082,505	16,750,493	16,575,413
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額() (円)	25.95	7.61	10.87
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	37.7	36.4	37.7

回次	第112期 第3四半期 連結会計期間	第113期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() (円)	3.64	11.29

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 第112期、第112期第3四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は記載しておりません。

3 第113期第3四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は記載しておりません。

4 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および子会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は126億56百万円となり、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べて8億39百万円の減収となりました。

損益面におきましては、営業利益は4億33百万円（前年同四半期比3億34百万円減、43.6%減）、経常利益は4億10百万円（同3億25百万円減、44.3%減）となりましたが、関連事業損失を計上したことにより四半期純損失1億9百万円（前年同四半期は3億72百万円の四半期純利益）の計上となりました。

[セグメント別の売上高の概況]

区 分	前年同四半期		当第3四半期 連結累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品部門	5,477	40.6	4,822	38.1	654	12.0
機能材部門	2,260	16.7	2,226	17.6	33	1.5
機能樹脂部門	1,417	10.5	1,521	12.0	104	7.4
化成品部門	4,061	30.1	3,835	30.3	226	5.6
化学工業セグメント	13,215	97.9	12,405	98.0	810	6.1
その他	279	2.1	251	2.0	28	10.3
合 計	13,495	100.0	12,656	100.0	839	6.2

< 化学工業セグメント >

当セグメントの売上高は、124億5百万円と、前年同四半期と比べ8億10百万円の減収となりました。

(精密化学品部門)

樹脂原料の出荷数量が増加したものの、医薬中間体や記録材料等の出荷数量が減少したため、売上高は48億22百万円と、前年同四半期と比べ6億54百万円の減収となりました。

(機能材部門)

接着剤の出荷数量が増加したものの、ゴム薬品の出荷数量が減少したため、売上高は22億26百万円と、前年同四半期と比べ33百万円の減収となりました。

(機能樹脂部門)

ワニスの出荷数量が増加したため、売上高は15億21百万円と、前年同四半期と比べ1億4百万円の増収となりました。

(化成品部門)

可塑剤の出荷数量の減少と原料価格の下落に伴う販売価格の修正にともない、売上高は38億35百万円と、前年同四半期と比べ2億26百万円の減収となりました。

<その他>

化学分析受託事業の売上高は、土壌分析業務が減少したため2億51百万円と、前年同四半期と比べ28百万円の減収となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ5.2%増加し、96億57百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ4.1%減少し、70億92百万円となりました。これは、主として農薬中間体生産設備の増強等による設備投資額を、減価償却費や設備の除却等による減少が上回ったことによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産額は167億50百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億75百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ12.9%増加し、87億円となりました。これは、主として一年内返済予定の長期借入金を含む短期借入債務等が増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ25.2%減少し、19億57百万円となりました。これは、主として長期借入金の一年内返済予定が増加したことによる流動負債への振替等によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べ3.2%増加し、106億57百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べ2.5%減少し、60億92百万円となりました。これは、主として配当の実施や四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は4億2百万円であり、ます。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年1月31日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,440,000	14,440,000	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数は1,000株 であります。
計	14,440,000	14,440,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年12月31日	-	14,440	-	1,572,000	-	1,008,755

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	(自己保有株式) 普通株式 83,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 14,238,000	14,238	-
単元未満株式	普通株式 119,000	-	-
発行済株式総数	14,440,000	-	-
総株主の議決権	-	14,238	-

(注) 「単元未満株式」の株式数には当社所有の自己株式166株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数割合(%)
(自己保有株式) 田岡化学工業株式会社	大阪市淀川区西三国 四丁目2番11号	83,000	-	83,000	0.57
計	-	83,000	-	83,000	0.57

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）および第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	410,694	226,580
受取手形及び売掛金	1 4,400,325	1 4,815,176
商品及び製品	2,674,048	2,737,724
仕掛品	89,513	42,916
原材料及び貯蔵品	1,260,417	1,273,977
その他	342,296	561,381
貸倒引当金	169	37
流動資産合計	9,177,126	9,657,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,728,987	6,549,447
減価償却累計額	4,575,553	4,511,740
建物及び構築物（純額）	2,153,434	2,037,706
機械装置及び運搬具	17,365,557	17,195,571
減価償却累計額	14,724,520	14,591,263
機械装置及び運搬具（純額）	2,641,037	2,604,308
その他	3,409,265	3,165,900
減価償却累計額	1,493,333	1,414,109
その他（純額）	1,915,932	1,751,791
有形固定資産合計	6,710,404	6,393,805
無形固定資産	28,437	20,760
投資その他の資産		
その他	668,245	687,008
貸倒引当金	8,800	8,800
投資その他の資産合計	659,445	678,208
固定資産合計	7,398,286	7,092,774
資産合計	16,575,413	16,750,493

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 3,684,752	1 3,748,748
短期借入金	2,167,538	2,382,470
1年内返済予定の長期借入金	198,000	798,000
未払法人税等	50,432	19,578
賞与引当金	376,072	179,085
その他	1 1,232,534	1 1,572,407
流動負債合計	7,709,331	8,700,289
固定負債		
長期借入金	1,072,000	299,000
退職給付引当金	1,274,090	1,394,928
役員退職慰労引当金	38,812	-
その他	230,752	263,308
固定負債合計	2,615,655	1,957,237
負債合計	10,324,986	10,657,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	3,761,143	3,544,307
自己株式	22,403	22,601
株主資本合計	6,319,494	6,102,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,549	46,218
為替換算調整勘定	122,616	55,713
その他の包括利益累計額合計	69,067	9,495
純資産合計	6,250,426	6,092,966
負債純資産合計	16,575,413	16,750,493

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	13,495,353	12,656,333
売上原価	10,964,593	10,408,691
売上総利益	2,530,760	2,247,642
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	375,322	355,725
給料手当及び福利費	631,667	666,994
退職給付引当金繰入額	31,388	38,022
役員退職慰労引当金繰入額	14,225	4,437
貸倒引当金繰入額	30,146	-
研究開発費	351,850	402,112
その他	327,922	346,680
販売費及び一般管理費合計	1,762,523	1,813,973
営業利益	768,237	433,668
営業外収益		
受取利息	468	101
受取配当金	3,485	3,583
物品売却益	3,551	4,429
その他	4,009	5,294
営業外収益合計	11,515	13,408
営業外費用		
支払利息	31,579	32,995
為替差損	10,662	3,375
その他	1,506	670
営業外費用合計	43,748	37,040
経常利益	736,003	410,035
特別損失		
固定資産除却損	11,363	41,835
関連事業損失	1 60,595	1 706,125
特別損失合計	71,959	747,961
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	664,043	337,925
法人税、住民税及び事業税	155,638	17,792
過年度法人税等	23,319	-
法人税等調整額	159,051	246,470
法人税等合計	291,371	228,678
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	372,672	109,247
四半期純利益又は四半期純損失()	372,672	109,247

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	372,672	109,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,721	7,330
為替換算調整勘定	15,876	66,903
その他の包括利益合計	24,598	59,572
四半期包括利益	348,073	49,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348,073	49,674

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
「連結子会社の事業年度等に関する事項の変更」 当社連結子会社である田岡(天津)有機化学有限公司の決算日は12月31日ではありますが、連結財務情報のより適正な開示を図るため、連結決算日において仮決算を実施した上で連結することに变更しております。 この変更により、当第3四半期連結累計期間は平成24年4月1日から平成24年12月31日までの9ヶ月間を連結しております。なお、平成24年1月1日から平成24年3月31日までの3ヶ月間の損益については利益剰余金に計上しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
1. 原価差異の繰延処理 操業度等の季節的な変動に起因した原価差異が発生し、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合には、当該原価差異を繰延べております。 2. 税金費用の計算 一部の連結子会社については、当第3四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(役員退職慰労引当金制度の廃止) 当社および国内子会社は、平成24年6月28日開催の株主総会終結の時をもって、役員退職慰労金制度を廃止いたしました。これに伴い本制度廃止までの在任期間に応じた役員退職慰労引当金を全額取り崩し、長期未払金(固定負債その他)に計上しております。なお、支払は役員の退任時としております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 満期手形および期日現金決済(手形と同条件で手形期日に現金決済する方式)の会計処理は、手形交換日または期日現金決済日に行っております。なお、当第3四半期連結会計期間の末日が金融機関の休業日であったため、次の同日現在の満期手形等が当第3四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形及び売掛金	679,215千円	698,836千円
支払手形及び買掛金	464,828千円	491,520千円
その他(流動負債)	88,726千円	68,745千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)						
1 関連事業損失は、子会社の事業構造転換費用であります。	1 関連事業損失は、子会社の事業構造転換費用および平成25年1月31日の取締役会での解散決議に伴う清算関連費用であり以下のとおりです。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">固定資産除却損</td> <td style="text-align: right;">488,665千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">清算費用見込額</td> <td style="text-align: right;">131,050千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事業構造転換費用</td> <td style="text-align: right;">86,410千円</td> </tr> </table>	固定資産除却損	488,665千円	清算費用見込額	131,050千円	事業構造転換費用	86,410千円
固定資産除却損	488,665千円						
清算費用見込額	131,050千円						
事業構造転換費用	86,410千円						

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	613,588千円	679,981千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	43,079	3.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	43,073	3.00	平成23年9月30日	平成23年11月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	43,072	3.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	43,070	3.00	平成24年9月30日	平成24年11月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	13,215,639	279,713	13,495,353	-	13,495,353
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	682,660	682,660	682,660	-
計	13,215,639	962,374	14,178,014	682,660	13,495,353
セグメント利益	682,112	90,355	772,467	4,230	768,237

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業および構内物流業務受託事業等であります。

2 セグメント利益の調整額 4,230千円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	12,405,318	251,015	12,656,333	-	12,656,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	552,222	552,222	552,222	-
計	12,405,318	803,238	13,208,556	552,222	12,656,333
セグメント利益	389,400	48,578	437,979	4,310	433,668

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業および構内物流業務受託事業等であります。

2 セグメント利益の調整額 4,310千円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()	25円95銭	7円61銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	372,672	109,247
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	372,672	109,247
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,358	14,356

- (注) 1 前第3四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は記載しておりません。
 2 当第3四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第113期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当については、平成24年10月30日開催の取締役会において、次の通り中間配当を行うことを決議し、配当を行っております。

配当金の総額	43,070千円
1株当たりの金額	3円
支払請求権の効力発生日および支払開始日	平成24年11月22日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 1月31日

田岡化学工業株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 尾 正 孝 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 野 友 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている田岡化学工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、田岡化学工業株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。